

関係各位

株式会社
北海道新聞社
公益財団法人
北海道新聞社会福祉振興基金

2018年度(平成30年度)
「社会的養護児童 進学・自立支援金」奨学生募集について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り心よりお礼申し上げます。

さて、北海道新聞社と北海道新聞社会福祉振興基金は2012年(平成24年)に道新の創立70周年と基金の公益法人化を記念し、返済不要の給付型奨学金「社会的養護児童 進学・自立支援金」制度を設立しました。児童養護施設や里親家庭で育った子どもたちを対象に、大学や専門学校への進学を支援することを目的とし、昨年度までの6年間で86名2,394万円(1人当たり10～50万円)を贈りました。進学先は、大学、短大、専門学校、職業能力開発大学校や志望校不合格による進学予備校も支援対象としております。

つきましては、来春の進学を予定される方(既卒者含む)で、当制度利用の希望がございましたら別紙募集要項をご覧ください、必要書類を用意の上ご応募ください。

敬具

記

〔同封資料〕

◇募集要項 ◇申請書類①～③

※当基金ホームページ(<https://fukushi.hokkaido-np.co.jp/>)からダウンロードも可能です。

応募締め切り：2018年(平成30年)9月20日(木) 当日消印有効
採 否 通 知：10月末を予定

以上

<事務局>公益財団法人北海道新聞社会福祉振興基金
〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6
TEL.011-210-5751/FAX.011-210-5759
fukushi@hokkaido-np.co.jp

2018年度(平成30年度)
社会的養護児童 進学・自立支援金
＜募集要項＞

2018年(平成30年)7月

【主催】

株式会社北海道新聞社、公益財団法人北海道新聞社会福祉振興基金

【趣旨】

北海道内の児童養護施設や里親家庭などで生活し、高校卒業後、大学などへの進学を目指す子どもたちを主な対象に、進学にあたって必要となる初年度納付金(入学金や授業料、支度金など)の一部を支給します。

【募集対象】

道内の児童養護施設など(注1)に現に入所、または里親(注2)に現に委託されているか、過去に入所または委託されていた子どもで2019年(平成31年)4月に4年制大学、短期大学、学校教育法に基づく専門学校、職業能力開発大学校など(志望校不合格による大学進学予備校を含む)への進学を希望する高校3年生と過年度卒業生。

進学先は道内に限りません。

(注1) 児童養護施設、児童自立支援施設、児童自立援助ホーム、ファミリーホーム、児童心理治療施設、母子生活支援施設を指します。

(注2) 養育里親及び親族里親であって、養子縁組をしたものや養子縁組を前提とするものは含みません。

【支援内容と金額】

4年制大学、短期大学、専門学校などの初年度納付金(入学金や授業料、支度金など)の一部(上限50万円)を支給します。総額500万円。

返済は不要ですが、受給予定者が当初の志望校に合格せず、進路を変更した場合は、運営委員会(後記)の裁定により支給内容を変更することがあります。

【給付人数】

10～20人程度

【応募方法】

申請書①～③を道新社会福祉基金のホームページからダウンロードするか、当基金に応募書類を請求し、必要事項を記入の上、提出してください。

【提出書類】

1. 申請書①(本人申込書)
2. 申請書②(施設長推薦書または里親推薦書)
3. 申請書③(生活指導計画書)
4. 作文(テーマ「私の将来設計」、市販の原稿用紙400字詰め2枚程度、奨学生直筆に限る)
5. 志望校の初年度納入金額がわかる募集要項やHPのコピーなど。

※申請書③に申請中を含めすべての奨学金申請先を記入し、当支援金の採否決定前に他の奨学金受給が決定した場合は、すみやかに連絡願います。

【締め切り】

2018年(平成30年)9月20日(当日消印有効)

【選考方法と結果連絡】

応募書類と他の奨学金決定状況をもとに、児童福祉の専門家などからなる当基金の運営委員会で選考を行います。

10月末までに採否を文書で通知するとともに、受給予定者には支援金の支給に必要な手続きや支給時期、方法などをお知らせします。

※民間団体から年間60万円以上の給付型奨学金を受けることが決まった人は受給額の調整対象になります。

【その他】

- ①選考経過や個別の採否の理由についてはお答えできません。
- ②入学後、2019年5月上旬までに在学証明書を当基金に提出してください。
- ③支援金の支給後、1年ごとに在学証明書を添えて近況報告を提出してください。
- ④施設長や里親には進学後、年2回の支援状況報告を求めますのでご協力願います。
- ⑤必要書類の不備や、応募内容が事実と相違していた時は、支援金の返還を求める場合があります。
- ⑥応募者の個人情報は当基金の個人情報保護方針に基づき適正に処理されます。

＜申し込み・問い合わせ先＞

公益財団法人北海道新聞社会福祉振興基金
〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6
Tel. 011-210-5751 Fax. 011-210-5759
E-mail fukushi@hokkaido-np.co.jp

北海道新聞社・北海道新聞社会福祉振興基金
 社会的養護児童 進学・自立支援金 申請書 ①
 <本人申込書>

※申請者本人の自筆にて作成してください。

記入日： 2018年(平成30年) 月 日

ふりがな				性別	写真添付 (約 5cm × 3.5cm)	
氏名				男・女		
生年月日	西暦	年(平成 年)	月 日 (満 歳)			
住所	〒					
	電話番号					
在学(卒業) 学校名	高校 (既卒の場合 年3月卒業)					
希望進学先				初年度納入金 ※納入金額がわかる募集要項やHPなどのコピーを添付願います。		
第1希望	学校名				入学金	円
	学部・コース等				授業料	円
	試験日		在学年数	年制	その他	円
第2希望	学校名				入学金	円
	学部・コース等				授業料	円
	試験日		在学年数	年制	その他	円
第3希望	学校名				入学金	円
	学部・コース等				授業料	円
	試験日		在学年数	年制	その他	円
◆進学を希望する理由(何を学び、将来にどのように生かすのかを具体的に書いてください)						

※ご提出いただいた個人情報については、公益財団法人北海道新聞社会福祉振興基金の連絡等の目的以外では利用しません。

北海道新聞社・北海道新聞社会福祉振興基金
 社会的養護児童 進学・自立支援金 申請書 ②
 <里親 推薦書>

公益財団法人
 北海道新聞社会福祉振興基金 殿

記入日：2018年(平成30年) 月 日

ふりがな			④
里親名			
住 所	〒		
電話番号		FAX番号	

この度の進学・自立支援金について、下記の通り推薦します。
 なお、本人申込書についても確かに確認しましたのであわせて提出いたします。

本人氏名： _____

◆推薦理由（本人の将来の希望、今後の支援の見通しなどをお書きください）

※ご提出いただいた個人情報については、公益財団法人北海道新聞社会福祉振興基金の連絡等の目的以外では利用しません。

北海道新聞社・北海道新聞社会福祉振興基金
社会的養護児童 進学・自立支援金 申請書 ③
＜生活指導計画書＞

記入日：2018年(平成30年) 月 日

奨学生名： _____

記入者名： _____

1. 進学後の収入見込みについて

(1) アルバイト

時給	円×週	時間	=月	約	円
----	-----	----	----	---	---

(2) 奨学金、公的制度、民間の助成金など(申請中含む)

奨学金・制度名 (実施機関・団体名)	金 額
社会的養護児童 進学・自立支援金 (当基金) (貸与/給付) (一括/年/月)	円
(貸与/給付) (一括/年/月)	円
(貸与/給付) (一括/年/月)	円
(貸与/給付) (一括/年/月)	円
(貸与/給付) (一括/年/月)	円
(貸与/給付) (一括/年/月)	円
(貸与/給付) (一括/年/月)	円
(貸与/給付) (一括/年/月)	円

(3) その他

項 目	金 額
貯金から	一括/年/月 円
仕送り等	一括/年/月 円
その他()	一括/年/月 円

2. 進学後の支出見込みについて

項 目	金 額
入 学 金	一括 円
授 業 料	年 円
設備費等学校諸経費	年/月 円
家 賃	年/月 円
生活費 (食費・水道光熱費・通信費)	年/月 円
その他 ()	年/月 円

3. 進学後の住居について

- ・現在のまま
- ・新しい住居 [寮・下宿等 / アパート等 / その他()]

4. 本人の目標について(1年後、および5～6年後)

1年後 _____

5～6年後 _____

5.進学後の支援について

(具体的な計画を本人と相談の上、ご記入ください)

①資金計画

②具体的計画

③必要となる支援

④本人に求めること
